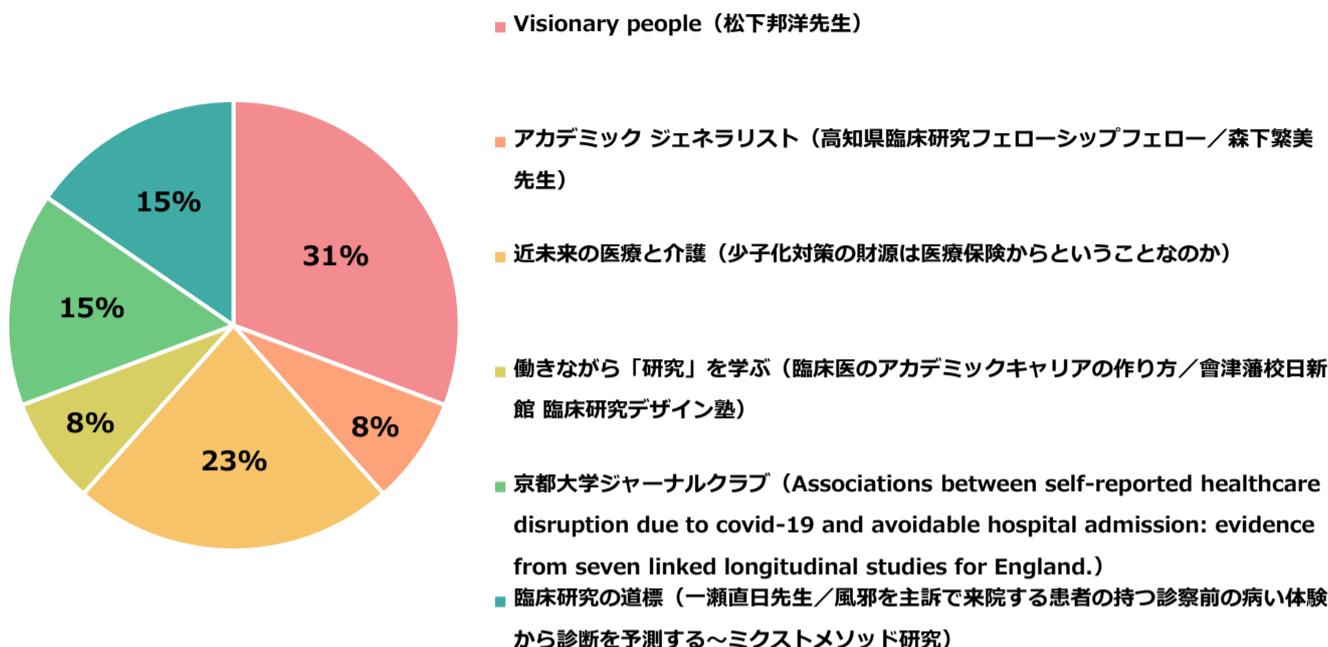


2023 年 10 月号の読者アンケートに多数のご参加をいただきまして、ありがとうございました。アンケートの結果をご紹介します。

Primaria ONLINE 編集部

■2023 年 10 月号で最も良かったと思う記事は？（ひとつを選択）



■2023 年 10 月号で最も良かったと思う記事（前の設問で選択）の理由は？（自由記載/抜粋）

Visionary people (松下邦洋先生)	Johns Hopkins で教授になるような日本人が出ているということを知ったこと。
	米国に行った経緯などが分かり面白かったです。
	海外でご活躍の先生のお話を興味深く拝見させて頂きました。京都大学ジャーナルクラブも大変興味深く拝見いたしました。
	ご活躍の先生のお話を聞くのは楽しい。
アカデミック ジェネラリスト (高知県臨床研究フェローシップフェロー/森下繁美先生)	森下先生の思い (退職後に臨床研究を志された) がとても興味深かったです。
近未来の医療と介護 (少子化対策の財源は医療保険からということなのか)	自分にとって最も身近な話題だからです。
	いろいろな側面から医療が見えて参考になります。
	少子化対策予算の財源のからくりを簡潔明解に解説されていて、問題点が明確になった。
働きながら「研究」を学ぶ (臨床医のアカデミックキャリアの作り方/會津藩校日新館 臨床研究デザイン塾)	臨床研究てらこ屋の物語が良かった。
京都大学ジャーナルクラブ (Associations between self-reported healthcare disruption due to covid-19 and avoidable hospital admission: evidence from seven linked longitudinal studies for England.)	ワクチンの有効性、という正に公衆衛生領域のトピックであり、分かりやすくまとめていただいていたので非常に勉強になったからです。
	勉強になるからです。
臨床研究の道標 (一瀬直日先生/風邪を主訴で来院する患者の持つ診察前の病い体験から診断を予測する~ミクストメソッド研究)	臨床研究の道標を拝読、学習中でありますので、大変興味がある記事だったからです。
	Mixed メソッドに至った経緯が興味深かったです。

■今後、取り上げてほしいトピックス（自由記載／抜粋）

外科
京大 SPH25 周年記念関連の話題。
小児についてのトピックスも取り上げてくださると大変ありがたいです。

■Primaria ONLINE へのご要望など何でもご意見をお寄せください（自由記載／抜粋）

もう少し米国に残った理由の深掘りやグラントを取るための苦勞などを深掘りして欲しかったです。全体的な流れよりはあるテーマに絞ってより深いお話を聞きたいです。
今春のアンケート回答では貴出版社から記念誌を進呈くださり新年早々本当に勇気づけられました。福原先生の年賀状（大谷選手の生写真入り）も本当に嬉しかったです。貴誌は高レベルの先生方による貴重な学術誌であり、私（52歳）は足元にも及びませんでした。こうして京大 SPH 卒業生の一員として仲間に入れてくださることを人生の喜びと感謝しているのです。
興味深く拝読させていただいております。ありがとうございます。